

まちづくり交付金 事後評価シート

綺羅街道地区

平成19年3月

北海道ニセコ町

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道	市町村名	ニセコ町	地区名	綺羅街道地区
計画期間	平成16年度～平成18年度	まちづくり交付金交付期間	平成16年度～平成18年度		
モニタリング実施時期		事後評価実施時期	平成18年4月～平成19年3月	フォローアップ実施時期	平成19年4月ごろ

1)事業の実施状況	当初計画どおり実施した事業	地域生活基盤施設:ニセコ駅前広場整備事業、ニセコビュープラザ中庭整備改修事業									
	当初計画から変更した事業 (変更した内容)	高質空間形成施設:ニセコ町綺羅街道街路灯整備工事(0→街路灯14基設置)、既存建造物活用事業:駅前倉庫の活用(取りやめ)、地域創造支援事業:道の駅ニセコビュープラザ機能強化事業(機能向上工事による事業費増)、観光情報端末機設置事業(取りやめ)、公衆無線LAN設置事業(0→1基)、事業活用調査:事業評価や今後のまちづくり方策等について学識経験者等から意見聴取									
	変更した理由、目標・数値指標への影響等	ニセコ町綺羅街道街路灯整備工事:道の駅から綺羅街道への誘導(目標・数値指標への影響なし)、駅前倉庫の活用:用地交渉不成立(目標・数値指標への影響なし)、道の駅ニセコビュープラザ機能強化事業:情報提供の強化、施設の手狭等(目標・数値指標への影響なし)									
2)都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		達成度		達成見込みの有無		効果発現要因				
	指標1	観光客入込客数	単位	モニタリング	事後評価	フォローアップ	あり	なし	総合所見		
	指標2	綺羅街道入込客数	人/年						構想段階から住民参加のもとに計画が進められ、ニセコ駅から道の駅までが町のメインストリートという認識が広まった。		
	指標3	循環バス乗車率の向上	%						実施事業は少なからず、指標達成に効果を発揮したと考えるが、そもそも綺羅街道の入込み数の把握が難しく、その効果を表しがたい状態		
	指標4								バス運行の側面から、観光的な利用の取り組みが充分ではなく、効果の発現には至らなかった。		
	指標5										
3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		数値		効果発現要因				
	指標	単位	基準年度	モニタリング	事後評価	フォローアップ	総合所見				
	その他の数値指標1 [指標1:観光客入込客数の代替]	人/年	609,749	H14		699,304	ビュープラザの整備により、当該施設の入館者数は着実に伸びている。道の駅を中心とする賑わいは明らかに再生しつつある。				
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										
4)定量的に表現できない定性的な効果発現状況	ニセコ駅及びニセコビュープラザの整備、機能強化により新たなビジネスが進出し、賑わいが再生している。ニセコ駅では、アウトドア事業者が駅横に事務所を構えるようになった。また、ニセコビュープラザでは、ここ数年で飲食店をはじめとする商店が6店以上進出し、ニセコ町規模の自治体としては異例の状況と思われる。総務省「平成16年度事業所・企業統計調査」を基にした「市町村別民営事業所従業者数の変化率上位100位(全国)」の調査で、ニセコ町が82位となっている。また、綺羅街道の植栽を行うニセコ花フェスタ実行委員会は、その活動を発展させ、平成17年7月には「NPO法人ニセコまちづくりフォーラム」へと進展した。										
5)実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況			今後の対応方針等					
	モニタリング		予定どおり実施できた								
			予定していなかったが実施した								
			予定したが実施しなかった・できなかった								
	住民参加プロセス	*ニセコ駅前広場整備検討委員会	予定どおり実施できた			ニセコ町まちづくり基本条例により、重要な事業の実施などについては住民参加で進めることが原則となっている。当該委員会等は終了しているが、必要があれば改めて住民参加により検討を進める。					
		*綺羅街道街路灯整備に関する住民検討会議	予定していなかったが実施した								
			予定したが実施しなかった・できなかった								
	持続的なまちづくり	景観を中心としたNPOの構築	予定どおり構築できた			NPO法人ニセコまちづくりフォーラムへの支援継続を検討する。					
			予定していなかったが構築した								
			予定したが構築しなかった・できなかった								

様式2 - 2 まちづくり交付金の成果及び今後のまちづくり

綺羅街道地区(北海道ニセコ町) まちづくり交付金の成果概要						
まちづくりの目標	ニセコ駅前周辺と観光情報の拠点地整備におけるニセコ観光の賑わいの再生	まちづくり交付金の代表的成果	観光入込客数(単位:人/年)	1,403,500(H10)	1,439,400(H14)	1,547,503(H18)
地域生活基盤施設 ニセコ駅前広場整備			循環バス乗車率の向上(%)	6(H14)	7(H18)	
まちづくり活動推進事業 花フェスタ支援事業			ニセコビュープラザ利用者数(人/年)	519,434(H10)	609,749(H14)	699,304(H18)
事業活用調査・まちづくり交付金事業評価委員会			地域創造支援事業 棒雪対策工事			公衆無線LAN設置事業 道の駅ニセコビュープラザ機能向上
高質空間形成施設:街路灯設置			地域生活基盤施設 中庭整備改修事業			
道の駅の更なる利用者増加		本事業の完成により、道の駅のハード面はほぼ整備された。道の駅には現在、全国で初めて株式会社化した「ニセコリゾート観光協会」と農家で組織する「ニセコビュープラザ直売会」の2団体が店舗を構えて営業を行っている。この両団体(会社)が今後も、各々の事業を発展させることで、道の駅の振興、延いてはニセコ町産業の振興に大きく寄与することとなる。				
駅前の振興・発展		直売会は、今後も道の駅を拠点とし、地域のホテルやペンション、学校給食との連携を深め、地産地消を強力に推し進める。観光協会は、情報発信と内部連携を強化し、ウェルカム事業に力を入れ、綺羅街道への誘客をはじめ、観光客等の一層の集客を図る。				
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		駅周辺はニセコ大橋の建設以来、通過者が激減し寂れた状況にあった。本事業の完成により、ニセコ駅前の整備が終了した。このことで、駅周辺の交通アクセスが規則的となり、駅前の利用が快適となった。駅前温泉綺羅乃湯など既存企業や商店等との連携により、今後はソフトの振興が重要である。 ニセコ駅から道の駅までを一連のメインストリートと見立て、相互の連携により、駅前の一層の振興が必要である。				
綺羅街道の活用		これまでの綺羅街道を舞台に花づくりを行ってきた団体がNPOに発展した。このNPOとの連携協力により、綺羅街道の活用方法の再検討が必要である。				
循環バスの運行見直		町内5系統(早朝7系統)の運行を行う循環バスの、観光利用の促進などを含め、効率的な運行を検討する。				

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2 都市再生整備計画変更の理由・指標への影響
- 添付様式3 - 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式3 - その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式3 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式4 - モニタリングの実施状況
- 添付様式4 - 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式4 - 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式5 - 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式5 - 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式5 - 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式6 - 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式6 - まちの課題の変化
- 添付様式6 - 今後のまちづくり方策
- 添付様式7 まちづくりの成果の他地区への活用

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式8 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式9 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式10 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A . まちづくりの目標					
B . 目標を定量化する指標					
C . 目標値					
D . その他()					

添付様式1 - 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)

(単位:百万円)

基幹事業											
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要	変更された 目標との対応	実績(事業費)		事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			事後評価 見込み	フォローアップ	完成	完成見込み
道路											
公園											
河川											
下水道											
駐車場有効利 用システム											
地域生活基盤 施設	ニセコ駅周辺 道の駅ニセコピューブラザ	52	広場面積3,108m ² 休憩スペース、布石縁 石	52	広場面積3,108m ² 休憩スペース、布石縁 石			52	52		
高質空間形成 施設	綺羅街道沿線	0		9	L=800m、電灯柱14 基(5m)、電線地下埋 設	綺羅街道地区のうち、国道から市街地へ誘導する 重要部分への街路灯設置		9	9		
高次都市施設											
既存建物活 用事業	ニセコ駅周辺	30	1号棟3,178.8m ² 2号棟327.7m ²	0		用地交渉不成立に による事業の取りやめ		0	0		
都市再生交通 拠点整備事業											
土地区画整理 事業(都市再 生)											
住宅市街地 総合整備事業											

注:事業費の大額変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(単位:百万円)

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要	変更された 目標との対応	実績(事業費)		事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			事後評価 見込み	フォローアップ	完成	完成見込み
地区再開発事業											
人にやさしいまちづくり事業											
優良建築物等整備事業											
住宅市街地総合整備事業											
街なみ環境整備事業											
住宅地区改良事業等											
都心共同住宅供給事業											
公営住宅等整備											
都市再生住宅等整備											
防災街区整備事業											

注:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(単位:百万円)

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要	変更された 目標との対応	実績(事業費)		事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			事後評価 見込み	フォローアップ	完成	完成見込み
地域創造支援事業	道の駅ニセコヒューブラザ機能強化事業	13	オーブンフリード工事、木造外壁工事	19	オーブンフリード工事、外壁、内装の機能強化及び施設増築工事			19	19		
	観光情報端末機設置事業	4	端末機、伝送施設設置、構内伝送路工事、付帯工事(各2)	0		当該機器調査の結果、必ずしも利便性を図ることができず、取りやめた。		0	0		
	公衆無線LAN設置事業	0		11	ルーター(ファイアーウォール)設置、レイヤ3スイッチ設置、無線LANアンテナ設置、工事費	観光情報、道路情報、防災情報などを提供し、立ち寄り拠点としての魅力を向上させる		1	1		
事業活用調査	ニセコ町広報広聴検討会議の開催(まちづくり交付金評価委員会)	0		11	有識者による評価会議を2回開催する	ニセコ町の既存会議である広報広聴検討会議にて評価を行う		1	1		
まちづくり活動推進事業	花フェスタ支援事業	3	植栽、環境美化、景観改善、イベントなど	4	植栽、環境美化、景観改善、イベントなど	平成18年度に事務費を計上したための増		2	2		

(単位:百万円)

(参考)関連事業

添付様式2 都市再生整備計画変更の理由・指標への影響(特に大きな変更があった場合について)

事業	箇所名	変更した理由、目標・数値指標への影響
既存建造物活用事業 (駅前交流センター整備)	ニセコ駅周辺	駅前交流センター整備に伴う用地取得交渉が進まず、平成18年度に予定していた用地取得を、平成18年度、19年度に予定していた改修工事を行うことができなくなり、取りやめた。目標・数値指標への影響はない。
高質空間形成設備(街路灯整備)	綺羅街道沿線	綺羅街道地区のうち、約半分の区間で街路灯が整備されていない。未整備区間は国道から市街地へ誘導する重要な区間であり、街路整備済みの区間と統一した街路灯を整備することにより、交通量の多い国道から効果的に観光客を誘致することが期待できる。さらに、住民及び観光客の夜間歩行の安全性を高め、安心して歩くことができる地域、観光地づくりをすることが、昨今住民から強く望まれてあり、早急に整備する必要があるため新たに追加する。なお、目標・数値指標への影響はない。
地域創造支援事業 (情報端末機設置事業、公衆無線LAN設置事業)	ニセコ駅、道の駅ニセコビュー プラザ	情報端末機は、現在使用している箇所で調査した結果、使用に制限があり、必ずしも利便性を図ることが出来ず、観光情報案内機能として十分な機能を発揮できないと判断したため、取りやめた。一方、公衆無線LANを新設するが、多様なニーズの人々が来訪するビュープラザにおいてインターネットを自由に活用でき、観光情報、道路情報、防災情報を今まで以上に提供することができる。なお、公衆無線LANは当初、ニセコ駅及び道の駅の2箇所に設置する計画であったが、利用頻度を再検討し道の駅1箇所に集約することとした。なお、目標・数値指標への影響はない。
地域創造支援事業 (道の駅ニセコビュープラザ機能強化事業)	道の駅ニセコビュープラザ	平成8年度に整備したニセコビュープラザは、外壁の老朽化に加え、当初展示会場として設計された情報棟もその役割が大きく変化し、全体として当初予定していた利用方法が大きく変貌してきた。利用客も年々増え、観光情報館としての役割を始め、交通情報や防災情報を取得する人や道の駅の成功例として視察対応なども頻繁に行われるようになり、現在の施設の情報のままでは手狭で利用客にも多大な迷惑がかかる現状であるため、機能強化を図る必要が生じた。なお、目標・数値指標への影響はない。

注:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式3 - 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)計画以前の値(ア)	従前値(イ)	目標値(ウ)	目標年度	数値(エ)			達成度		達成見込みの有無		達成見込みの根拠
							基準年度	基準年度	目標年度	あり	なし			
指標1	観光入込客数	人/年	平成18年度上期の観光客入込調査(宿泊施設、日帰り施設からの報告を受け集計)と過去5年(H13~17年度)の入込調査傾向を比較し評価値とする。	1,403,500	H10	1,439,400	H14	1,600,000	H18	モニタリング		モニタリング		和床の世界遺産登録により道東の入込が増加する中、入込が減少せず、健闘している
										事後評価	確定見込み	1,547,503	事後評価	
										フォローアップ		1,481,200	フォローアップ	
指標2	綺羅街道入込客数	人/年	平成18年度4~10月のピューフラザ入館調査と過去5年(H15~17年度)の入込調査傾向を比較し評価値とする。(ピューフラザ入込の0.33%が綺羅街道に入込むものと推計する。)			2,000	H14	4,000	H18	モニタリング		モニタリング		見込値で約1.5%の伸びを示しているが、2年以内に50%増の達成は難しい。
										事後評価	確定見込み	2,308	事後評価	
										フォローアップ		2,367	フォローアップ	
指標3	循環バス乗車率の向上	%	平成18年度上期の循環バス乗車人員調査(バス運行委託事業者による集計)と過去4年(H14~17年度)の乗車人員調査傾向を比較し評価値とする。			6	H14	10	H18	モニタリング		モニタリング		循環バスの観光利用を促進した場合でも2年以内の目標達成は難しい。
										事後評価	確定見込み	7	事後評価	
										フォローアップ		8	フォローアップ	
指標4										モニタリング		モニタリング		
										事後評価	確定見込み		事後評価	
										フォローアップ			フォローアップ	
指標5										モニタリング		モニタリング		
										事後評価	確定見込み		事後評価	
										フォローアップ			フォローアップ	

(参考)計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね5年程度前)の値のことをいう。

添付様式3 - その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標		単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考) 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		数値(ウ)			代替指標として用いるか	代替する指標	代替指標となりうる理由
基準 年度	基準 年度											
その他の数値指標 1	ニセコピューブラザ利用者数	人/年	平成18年度4~10月のピューブラザ入館調査と過去5年(H15~17年度)の入込調査傾向を比較し評価値とする。	519,434	H10	609,749	H14	モニタリング		代替指標とする	指標1・観光入込客数の代替として用いる	観光情報の速やかな提供や綺羅街道を含む、各種施設などへの誘導は、正にニセコピューブラザの機能であり、事業実施箇所も当該施設に集中している。また入込数も従前値の1.15倍という効果が発現している。
その他の数値指標 2								事後評価	確定 見込み	699,304		
その他の数値指標 3								フォローアップ		代替指標としない		
その他の数値指標 4								モニタリング		代替指標とする		
その他の数値指標 5								事後評価	確定 見込み		代替指標としない	
								フォローアップ		代替指標としない		
								モニタリング		代替指標とする		
								事後評価	確定 見込み		代替指標としない	
								フォローアップ		代替指標としない		

(参考)計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね5年程度前)の値のことをいう。

添付様式3 - 参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

ニセコ駅及びニセコピューブラザの整備、機能強化により新たなビジネスが進出し、賑わいが再生している。ニセコ駅では、アウトドア事業者が駅横に事務所を構えるようになった。また、ニセコピューブラザでは、ここ数年で飲食店をはじめとする商店が6店以上進出し、ニセコ町規模の自治体としては異例の状況と思われる。総務省「平成16年事業所・企業統計調査」を基にした「市町村別民営事業所従業者数の変化率上位100位(全国)」の調査で、ニセコ町が82位となっている。また、綺羅街道の植栽を行うニセコ花フェスタ実行委員会は、その活動を発展させ、平成17年7月には[NPO法人ニセコまちづくりフォーラム]へと進展した。平成17年11月に日本リサーチ総合研究所が実施した「まちづくりに関するニセコ町住民アンケート(Qここ10年くらいの間でニセコ町の元気度はどう変わったと思いますか?)」の問い合わせに、住民の58%がまちが元気になったと回答した。

(2) 実施過程の評価

添付様式4 - モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した予定内容	実施状況	実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施できた		
	予定していなかったが実施した		
	予定したが実施しなかった・できなかった (理由:)		

添付様式4 - 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した予定内容	実施状況	実施結果	今後の対応方針等
*ニセコ駅前広場整備検討委員会 *綺羅街道街路灯整備に関する住民検討会議	予定どおり実施できた	<駅前広場> 実施頻度【委員会5回(H15.6月-11月), 地区説明会(H16.3月), 計画の縦覧(H16年3月)] 実施の効果: 交通利便性の高い整備ができた。 <街路灯> 実施頻度【公開会議1回(H17.7月)] 実施の効果: 景観に対する配慮ができた	ニセコ町まちづくり基本条例により、重要な事業の実施等については住民参加で進めることが原則となっている。当該委員会等は終了しているが、必要があれば改めて住民参加により検討を進める。
	予定していなかったが実施した		
	予定したが実施しなかった・できなかった (理由:)		

添付様式4 - 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した予定内容	構築状況	実施結果		今後の対応方針等
		構築のための取組内容	まちづくり組織名:組織の概要	
景観を中心としたNPOの構築	予定どおり構築できた	実行委員会が住民との協働で長年行ってきた綺羅街道沿線の花づくりが定着し、今後も継続させてゆく検討が進められた。	NPO法人ニセコまちづくりフォーラム: 景観環境の改善活動、住民自治活動及び協働に関する提言生涯学習活動の支援	NPO法人ニセコまちづくりフォーラムへの支援継続を検討する。
	予定していなかったが構築した			
	予定したが実施しなかった・できなかった (理由:)			

注:本様式は、都市再生整備計画に記載した予定内容の有無に関わらず、実施した場合には記載すること。

(3) 効果発現要因の整理

添付様式5 - 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	構成員	実施時期	担当部署
企画課、建設課、商工観光課による検討	企画課、建設課、商工観光課	随時:11月28日、12月6日など日常的な意見交換を実施。	企画課(まちづくり交付金主管課)

添付様式5 - 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

種別	事業名・箇所名	指標の種別	指標1	その他の指標1		指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
		指標名	観光客入込数	ニセコビュープラザ利用者数							
基幹事業	ニセコ駅前広場整備事業(地域生活基盤施設) ニセコビュープラザ中庭整備改修事業(地域生活基盤施設) ニセコ町綺羅街道街路灯整備工事(高質空間形成施設)	B A -	駅前広場や街路灯整備については、その構想段階から住民参加のもとに計画が進められた。このことで、ニセコ駅から道の駅までが町のメインストリートであるという認識が広がった。また駅前広場の整備により駅前の交通利便性は向上した。	B A B	ピューブラザの整備により、当該施設の人館者数は着実に伸びている。また、ピューブラザを使用する観光協会及び直売施設も売り上げを伸ばしている。また、ピューブラザ周辺には飲食店等が盛んに出店し、商店街が形成されつつある。道の駅を中心とする賑わいは明らかに再生しつつある。						
提案事業	ニセコビュープラザ防雪対策工事(地域創造支援事業) 道の駅ニセコビュープラザ機能向上工事(地域創造支援事業)	A A		A A							
関連事業	ニセコ花フェスタ事業補助(まちづくり活動推進事業)	B		A							

今後の活用	駅と道の駅を結ぶ綺羅街道において、花づくりの外に人を呼び込む方策を検討する必要がある。	道の駅の本来の目的である情報発信を強化し、道の駅、綺羅街道、ニセコ駅の更なる連携・発展を検討する。		
-------	---	---	--	--

注:都市再生整備計画で実施予定とした各事業を、事業名・箇所名の欄に記載してください。

添付様式 5 - 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理表

注:都市再生整備計画で実施予定とした各事業を、事業名・箇所名の欄に記載してください。

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式6 - 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	構成員	実施時期	担当部署
企画課、建設課、商工観光課による検討	企画課、建設課、商工観光課	随時:11月28日、12月6日など日常的な意見交換を実施	企画課

添付様式6 - まちの課題の変化

事業前の課題	達成されたこと	事業後に残された課題
ニセコ町の情報拠点づくりとしてのニセコ駅及びニセコビュープラザの基盤整備が課題	ニセコ駅前広場及びニセコビュープラザの整備を行ったことで、観光客への迅速で広範囲な情報伝達が可能となった。	
交通面では、駅前広場の整備が不備で町民や観光客のアクセス性が不十分。抜本的な交通環境の強化が必要。	ニセコ駅前広場の整備が行われ、駅前の交通アクセスが合理的で安全になった。また、整備により駅前広場の統一感が生まれた。	
道の駅から綺羅街道までの区間は街路灯が未整備で観光客の市街地への誘導や地域住民の安全確保に支障をきたしてしまった。	ニセコビュープラザから綺羅街道までの区間が切り離されたイメージがあったが、該当整備で、一体感と安全確保が実現した。	
花フェスタなどを行う綺羅街道の観光情報を内外に発信し、多くの人が集まる場所とすることが必要である。	花フェスタの実施主体がNPOに成長し、持続的に綺羅街道を花で飾る体制ができた。	花フェスタの実施により中心市街地の舞台が整ったと言える。一方で、花の植栽のみでなく、商店街そのものの振興をいかに計ってゆくかが課題となる。
		新たな課題

添付様式6 - 今後のまちづくり方策

項目	基本的な考え方	想定される事業
道の駅の更なる利用者増加	本事業の完成により、道の駅のハード面はほぼ整備された。道の駅には現在、全国で初めて株式会社化した「ニセコリゾート観光協会」と農家で組織する「ニセコビュープラザ直売会」の2団体が店舗を構えて営業を行っている。この両団体(会社)が今後も、各々の事業を発展させることで、道の駅の振興、延いてはニセコ町産業の振興に大きく寄与することとなる。	直売会は、今後も道の駅を拠点とし、地域のホテルやペンション、学校給食との連携を深め、地産地消を強力に推し進める。 観光協会は、情報発信と内部連携を強化し、ウェルカム事業に力を入れ、綺羅街道への誘客をはじめ、観光客等の一層の集客を図る。
駅前の振興・発展	駅周辺はニセコ大橋の建設以来、通過者が激減し寂れた状況にあった。本事業の完成により、ニセコ駅前の整備が終了した。このことで、駅周辺の交通アクセスが規則的となり、駅前の利用が快適となった。駅前温泉綺羅乃湯など既存企業や商店等との連携により、今後はソフトの振興が重要である。	ニセコ駅から道の駅までを一連のメインストリートと見立て、相互の連携により、駅前の一層の振興が必要である。

とくに改善すべき項目
については、別途右
欄に必要な事業を記
入することとする

まちづくりの目標の達成に必要な事業

添付様式7 まちづくりの成果の他地区への活用

地区名	活用した内容
周辺部及び町内	<p>道の駅ニセコビュープラザの機能向上により、町内数箇所に農業者を中心とする新たな直売施設が出来た。また、ニセコビュープラザを中心に周辺部に飲食店等が出店をはじめ、商店街を形成する必要が語られるまでに振興してきた。</p> <p>これにより、第3次産業への就労人口が増加している。</p>

(5) 事後評価原案の公表

添付様式8 事後評価原案の公表

公表時期	公表方法
平成18年12月8日～平成18年12月21日まで(2週間)	町ホームページにて公表

住民の意見	特になし
-------	------

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式9 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成	実施時期	担当部署
小篠 隆生(北海道大学大学院工学研究科助教授) 福士 明(札幌大学法学部教授) 西科 純(芽室町住民生活課長) 佐竹久蔵(町民:株ニセコリゾート観光協会監査) 佐々木真理(町民:あそぶっくの会会員) 木下裕三(町民:株ヤマト代表取締役)	平成18年12月26日	ニセコ町役場企画課

主な意見と対応	<p>目標達成のための指標が、実施事業とミスマッチの部分が見受けられる。</p> <p>一方で定性的な評価について、例えば綺羅街道の植栽事業などは、全町に広がり、住民のまちづくりの意欲向上につながっていることが評価できる。</p> <p>また、ビュープラザの整備が、新たなビジネスチャンスの拠点となっており、指標では表せないが、この意味では成功しているとの意見があった。</p> <p>人々が回遊するためのステージはできあがりつつある。今後は、各ハードを結びつけ、まちづくり交付金事業の効果が全町的に広がりを見せるよう、ソフト面の取り組みが重要課題となる。</p>
---------	--

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式10 有識者からの意見聴取

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、まちづくり交付金評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。